

(様式2)

管外調査、**研修**、要請陳情、各種会議結果（報告）

舞鶴市議会議長
上羽和幸 殿

令和2年2月18日

会派に所属しない議員 氏名 西村正之
田村優樹

このたび、調査、**研修**、要請陳情、各種会議をしましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 参加者氏名：西村正之・田村優樹
- 2 調査・**研修地**、要請陳情先、各種会議先
福岡県福岡市博多区博多駅1丁目16-14
リファレンス駅東ビル7階会議室
- 3 期 間：令和2年2月11日～2月13日
- 4 経 費：西村正之（95,167円） 田村優樹（95,587円）
- 5 結果の概要
 - ①面会者・研修講師名
伊関友伸 城西大学経営学部マネジメント総合科学教授
 - ②調査、研修、要請陳情、各種会議先内容 … 別紙にて次の事項を記載
 - ア 事業目的、事業の概要、経費・財源、効果など
 - イ 研修、要請陳情、各種会議内容
 - ウ 所見

研修内容

- ア 事業の概要
 - A 「自治体病院経営最前線 2020」
 - B 「国の医療政策と自治体病院」
 - C 「人口減少時代の自治体病院経営」
- イ 研修内容
 - A 「自治体病院経営をめぐる最新情報・他」
 - B 「厚労省再検証要請 424 病院の衝撃・他」
 - C 「本格的少子高齢社会が地域に何をもたらすのか・他」

ウ 所 見（全体像）

厚生労働省が再編・統合を促す予定の公立・公的 424 病院のリストを公表したことを受け、全国的に過剰とされるベッド数の削減を進める動きがあると感じる。そうした中、424 病院はどのようにして選ばれたのか、再検証要請の問題点が注目されている。それは、全国一律で急性期病院の診療実績下位 33% で線をひいたため、へき地の中小病院が数多く対象とされたことや、全国一律で自動車 20 分の距離が適応され、積雪や山間地などの事情が考慮されていないなど、病院に予告なく行われたことから、病院職員や住民・患者に不安を与え、再検証機関も 1 年と短いことなどがある。さらには、経営の危ない病院として大学医局が医師を引き上げるのではないかとといった危険性もあり、新たな派遣にも影響すると考えられる。

しかし具体的な自治体病院の統合再編の問題になれば地方自治の問題になるので、自治体病院の運営には厚労省の医政局であれ権限が及ばないことがこの研修でよく理解できた。地域の患者・住民や地方議会の同意なくして動くものでないと確信を得ると同時に議会に託される重みも感じる。

これからの時代に適した持続可能な地域医療は、都道府県の医療計画に頼ることのない市町村レベルの医療政策、医療・介護の連携、医療・介護人材の養成までを視野に入れた計画を策定すべきで、高齢者が安心して亡くなっていく、子どもを安心して育てることのできる環境が求められると考える。

そこにはやはり、医師・看護師などの医療者の不足を意識しなければならず、条件の悪い地方の病院にこそ医師・看護師を始めとする医療者の研修機能を充実させる必要性、医療者が集まる病院が必要と感じた。

近隣の、高浜病院では、寄付講座を開設し、「地域プライマリケア講座」を通して、地域医療の本質、地域住民が抱えるさまざまな健康上の不安や悩みをしっかりと受け止め、適切に対応するとともに、広く住民の生活にも心を配り、安心して暮らすことができるよう、見守り、支える医療が展開されていると紹介されたことに感銘し、理想の医療の実現を目指して取り組む努力は非常に意義深いものと考え次第である。

研修時（リファレンス駅東ビル7階会議室）

